

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記)第十五回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月七日(土曜日)午前十一時二十一分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君
理事 綿貫 佐民君 理事 平野 増吉君
理事 氏原 一郎君

稲田 直道君 大井直之助君
木島 義夫君 小柳富太郎君
小暮 耕作君 太田秋之助君
仲川房次郎君 本名 武君
町田 三郎君 永井勝次郎君
林田 哲雄君 松澤 一君
的場金吉郎君 井出一太郎君
磯田 正則君

出席政府委員

内務事務官 郡 祐一君
農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君

本日ノ會議ニ付シテ議案
林業會法案(政府提出)

○平野 委員長代理 是ヨリ會議ヲ
開キマス——磯田正則君

○磯田委員 特ニ内務大臣ニ御伺ヒシ
タカウタノデアリマスガ、御都合デ局
長ガ御見エニナリマシタヤウデスカ
ラ、局長ニ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、
内務大臣ハ地方制度改正法案ノ本會議
ニ於キマスル上程ノ際、私ノ質問ニ對
シマシテ、又同ジク地方制度ノ委員會
ニ於キマスル同僚委員ノ質疑ニ際シマ
シテ、戰時中不合適ノ市町村合併ヲシ
タ所ハ、其ノ市町村ニ對シテハ、市町

村民ノ自主的要望ガアレバ、又分村サ
シテモ宜イト云フヤウナコトヲハツキ
リ言明致シテ居リマス、是ハヤハリ木
材ヤ薪炭ノ生産ニ非常ニ大キナ關係ノ
アルコトデアリマスルノデ、特ニ此ノ
委員會ニ於キマシテ、當局ノハツキリ
シタ方針ヲ伺フテ置キタイと思フノデ
アリマス、一昨日私所用ガアリマシ
テ、埼玉縣廳ニ參リマシタ所ガ、丁度
此ノ分村ノ陳情團ガ參ツテ居リマシ
テ、一緒ニ知事ニ會フテ實ヒタイト云
フ要求ガアリマシタノデ、突然ノコト
デ、餘リ私資料モ持ツテ居リマセヌ
ガ、知事ニモ會ヒマシテ、ソコデ此ノ
内務大臣ノ言明セラレタコトヲ、大臣
ハ斯ウ云フ方針デ居ラレルヤウダト云
フコトヲ御話申上ゲタ譯デアリマス
ガ、御承知ノヤウニ分村關係ガハツキ
リシマセスト、其ノ町村民ハ非常ニ迷
ツテ居リマシテ、是ガ延テハ木材薪炭
ノ生産ニモ重大ナ關係ヲ及ボスト云フ
ヤウナ關係モアリマスノデ、特ニ此ノ
際、一ツ内務當局ノ方針ハツキリ御
伺ヒ致シテ置キタイと思ヒマス

○郡政府委員 御指摘ノ分村問題デゴ
ザイマスガ、確カニ御話ノヤウニ、戰
時中軍ノ必要デアリマスルトカ、其ノ
他ノ情勢ノ爲ニ稍々合併ニ急デアリマ
シテ、而モ地元ノ意向ヲ、或ル場合ニ
ハ相當程度抑壓シテ合併致シタト云フ
ヤウナ節モ見受ケラレルノデアリマ
ス、勿論戰時中ニ於キマスル必要ハ、
色々ナ施設ヲ措ヘル等ノ爲ニ、ソレモ
已ムヲ得ナカシタ場合モアルと思ヒマ
スルガ、現在ニ於キマシテハ、ソレ等

ノ事情ハ解消致シテ居リマスルノデ、
分村ニ付キマシテモ、戰時中ノ方針ハ
現在ニ於テ棄テ、シマツテ宜イト思フ
ノデアリマス、唯御承知ノヤウニ、明
治二十年當時ニ町村ヲ大合併致シマシ
タガ、アノ當時ノ合併ニ付テモ、六十
年モ經テマシテモ尙且ツ安定致シマセ
ズニ、機會ガアリマス、分レタイト
云フヤウナコトヲ言フノモアルノデア
リマス、ドチラカト申セバ、地方團體ノ
地域ガ絶エズ動搖致スト云フコトハ、
好マシクナイコトデアリマスノデ、色
色事情モアラウケレドモ、或ルベクナ
ラバ安定シテ、又分レトカ云フヤウ
ナコトガナイヤウニシテ欲シイ、是ハ
法律上ノ問題ヨリ寧ろ運用ノ問題トシ
テ、左様ナ方針ヲ執ツテ居リマシテ、
隨ヒマシテ、合併ヲ致シマシタソレガ
軍ノ工廠デモ措ヘルヤウナコトデ、或
ル目的ノ爲ニ合併シタガ、其ノ合併ノ
理由ト云フモノガ全ク消滅シテシマツ
タ、合併自身ガ意義ヲナクナシタト云
フヤウナ場合、且ツ之ニ關係致シマス
ル町村ナリ、部落ナリノ總意ガ之ヲ支
持致シマスヤウナ場合、勿論ハ必ズ
シモ數ノ上デ申スノデアリマセヌ
デ、事柄ノ妥當性ハ見ナケレバナリマ
ス、セヌケレドモ、合併ノ理由ガ今日ハ既
ニ消滅シテ居リ、且ツ地元ニ於ケル意
向ト云フモノモ、客觀的ニ見マシテ之
ヲ支持致シテ居ル、斯様ナ場合ニ於キ
マシテハ分村ハ認メテ參リタイと思ヒ
マス、唯ヨクアリマスルヤウニ、其ノ
當面致シマスルヤウニ、其ノ當面致シ
マスル豫算ノ問題ダケトカ、色々ナコ

トデ感情デ、分レテシマヘト云フヤウ
ナ動キガアリマスルモノニ付キマシテ
ハ、或ベク府縣ノ當局ヲシテ説得サセ
ルヤウニ致シテ居リマス、何ト申シマ
シテモ、自治體ノ基本的ナ性格ニ關ス
ルコトデアリマスルカラ、或ルベク事
柄ハ起シタクナイ、併シ先程申シマシ
タヤウナ、寧ろ早ク分レマシタ方ガ今
後ノ自治體ノ發展上適當デアルト云フ
モノニ付キマシテハ、躊躇スル所ナク
分村ハ認メテ參ルコトニ致シタイと思
ツテ居リマス

○磯田委員 サウシマス、只今申上
ゲタ埼玉縣ノヤウナ場合デスガ、實際
ニ町會決議ヲシ、又町村民ノ大多數
ノ總意デアルト云フコトガハツキリ分
ツテ、ソレガ今後ニ於ケル紛争ノ因ト
モナラナイト云フヤウナ場合デアリマ
スレバ、ソレハ内務當局トシテモ、
其ノ町村民ノ要望ニ依ツテ分村ヲ認メ
ルト云フコトヲ、ハツキリ御言明致イ
タコトニ承知シテ宜シイノデアリマス
カ

○郡政府委員 具體的ナ埼玉ノ場合ニ
付テノ御尋ネデゴザイマスガ、御承知
ノヤウニ、埼玉ハ可ナリ町村合併ニ一
生懸命デアツタ縣デアリマス、又事實
ア、云フ平地デアリマシテ、其ノ合併
ノ行ハレマシタハ勿論平地トバカリ
限リマセヌデ、秩父ノ方ニモゴザイマ
シタガ、埼玉ノ合併ハ、比較的ア、云
フ地勢カラ申シマシテ合併シ易イ情勢
ニツモアリマスル爲カ、可ナリニ合併
ガ行ハレタノデアリマス、ソレデ此ノ
事柄自身ニ付キマシテ、其ノ合併ガ促

進サレタコト自身ニ付テ、誤リデアツ
タトハ一向考ヘテ居リマセヌ、ソレハ
實口規模ガ大キクナレバナルダケ、學
校等ノ施設ガ出來ルトカ、一般のナ長
所ガアリマスルノデ、ソレデ唯促
進サレマシタ合併ノ中デ、必ズシモ適
當デナイモノニ付キマシテハ、既ニ埼
玉デ分村ヲ認メタ例モゴザイマス、唯
アノ戰時中ニ行ハレマシタ埼玉縣ニ於
ケル合併ヲ、悉ク全部元ニ解消シテシ
マフト云フコトハ無意味ナコトデアリ
マシテ、又ソレ程ノ必要モナイ、サウ
シマス、アレダケ合併致シマシタモ
ノノ中デ、何處マデ一體分村ヲシナケ
レバ今後ノ發達上不適當デアラウカ、
ソレカラ合併ノ方針ト云フモノヲ依然
トシテ維持スベキ村ハ、ドノ程度ニ於
テ之ヲ維持スルカト云フヤウナコト、
是等ニ付キマシテ縣ノ方ニモソノ統一
シタ判斷ガ欲シイ、地元ガ動キ出シタ
カラソレデヤ認メヨウ、地元ガ默ツテ
居ル所ハ、少々無理ナ所モ其ノ儘觀ケ
テ行カウト云フヤウナ考ヘ方デナク、
寧ろ縣内ニ於ケル町村合併ニ付テノ再
檢討ヲ致スト云フ氣持デ、モウ一遍見
直シテ見ルコトガ必要デヤナイカト云
フ場合ニハ、指サシモシテ居リマス、
私共モソレノ縣ニ於ケル具體的ナ
分村問題ニ付テハ、其ノヤウナ考ヘ方
ヲ持ツテ居リマス、隨テ何村ト何村ノ
分村ガ直チニ認メラレルカト云フ具體
的ナ事例ニナリマスレバ、其ノ具體的
ナ分村ノ實際ノ調査ヲ私共持ツテ居リ
マスノデ、ソレ等ニ付テ十分検討モ致
シマスシ、又其ノ結果ガドウナルカハ

別デアリマスガ、十分關係者ノ意向ヲモ徽シ、又私共ノ意向ナリ、縣ノ考ヘ方ト云フモノモ十分御説明シタイと思ツテ居リマス

○磯田委員 此ノ埼玉ノ町村合併ガ、比較的關係ニ行ハレタ、平和ニ行ハレタト云フコトハ、ソレハ見解ノ相違デアリマシテ、アノ當時地方事務所長ガ非常ナ強硬手段ヲ以テ、無理ヤリニ一緒ニシタルデアアルト云フコトハ、爭ヘナイ事實デアリマシテ、當時色々問題ヲ起シタルヤウナ實例モアルデアリマス、サウ云フ點カラ見テ、無理ニ一緒ニシタルデアアルシ、結局斯ウ云フ時代ニナツタカラ分レヨウト云フ、本當ノ自治的ナ皆サシノ氣持、其ノ氣持ヲ此ノ際無理ニ抑ヘテ、ソレヲ又其ノ儘ノ形體デ置カウトスル所ニ、非常ナ無理ガ起ルノデハナイカ、ソレガ爲ニ出來ナクテモ宜イ、ヤラナクテモ宜イ紛爭ガ繰返サレルトニ依ツテ、本當ノ自治體ノ健全ナル發達ヲ期スルコトガ出來ナイト云フ狀態ニナルトシタルバ、寧ロソレハ一旦一緒ニシタルデアアルカラ、ソレヲ分村サセルト云フコトハ、内務當局ノ方針トシテハ、餘リ好マシクナイコトデアアルトハ致シマシテモ、此ノ際多數ノ要望デアレバソレヲ容レテ貰フト云フコトガ、當然現在ノヤウナ時勢ニハ、特ニ執ツテ貰ハナケレバナナイ當局ノ態度ダと思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ御伺ヒシマス

○郵政府委員 多數ノ關係者全體ノ意向、殊ニ當該ノ關係自治團體ノ議決機關ノ總意ト云フモノニ付キマシテハ、之ヲ十分尊重シテ判斷ヲ致スト云フコトハ、當然私共トシテ執ツテ參ル態度デゴザイマス

○磯田委員 大體内務省ノ方針ハ判明

致シマシタ、是デ内務當局ニ對スル質問ヲ切リマス

次ニ、農林大臣ガ御見エニナリマシテカラ、私ノ此ノ林業會法案ニ對シマスル所謂基本的ノ質疑ヲ致シタイと思ヒマス、尙ホ此ノ質疑ヲ致シマスルニ付キマシテハ、相當斯ウ云フ點ハ前ノ委員ガ言ツテ居ルト思ハレル點モアルト思ヒマスガ、是ハ委員トシテノ立場上、假令重複スルモノデアリマシテモ、一應ハ申上ゲルコトハ申上ゲル必要ガアルト思ヒマス、併シナガラモウ既ニ私ニ番終ヒニナツテ居リマスルシ、時間ノ關係モアリマスルノデ、成ベク簡潔ニ質疑ヲ申上ゲタイと思ヒマス、大臣ニ對シマスル質疑ヲ後週ニ致シマシテ、此ノ法案ト關聯ノアリマスル事情ニ付テ、事務當局ニボツリボツリ質疑ヲ致シタイと思ヒマス

國內森林資源ハ、御承知ノヤウニ濫伐、過伐ノ爲ニ段々少クナツテ來タト云フコトハ、是ハ既ニ論議シ盡サレテ居リマスルガ、一體現在ノ國內ノ森林ノ持ツテ居リマス、而モ現在ノ此ノ緊急ノ需要ニ對シマスル針葉樹或ハ闊葉樹、斯ウ云ツタヤウナモノノ國內資源ノ見透シト言ヒマスガ、大體ドナ程度ニナツテ居ルモノデアリマセウカ、又モウ他ノ委員カラモ繰返サレテ居ルカモ知レマセウカ、怪我ノ爲ニチヨイ／＼休ミマシテ、聴キ漏ラシテ居リマスノデ、特ニ伺ヒタイノデアリマスガ、輸入材ノ見透シ、斯ウシタ關係竝ニ進駐軍關係ノ用材、ソレカラ復興用材、賠償ノ撤收機械ノ梱包用材、サウ云フヤウナモノハ、ドンナ程度ニ現在ノ森林資源トシテノ力ガアルノカ、又之ニ對スル所謂需要ノ關係ハドンナ程度ニアルノカト云フヤウナコトニ付

キマシテ、一通リ御伺ヒシタイと思ヒマス

○中尾政府委員 國內ノ森林資源ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、私有林ノ方ノ施業案ガマダ完成シテ居リマセウノデ、確實ナ資料ニ基ク御答辯ノ出來ナイノハ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、大體只今マデノ概算ニ依リマス數ニ依リマス、國內ノ資源ハ戰前ニ於キマシテ——是ハ今ノ樺太、臺灣、朝鮮ヲ除キマシテノ數ニテデアリマスガ、六十七億萬石程度ノ蓄積ガアツタノデアリマスガ、御承知ノ通り、戰時中ニ於キマシテ相當過伐セラレマシタ爲ニ、只今ノ見込デハ大體蓄積ガ六十億近クニ相成ツテ居ルカト存ズルノデアリマス、其ノ六十億ノ内、大體利用可能ノ蓄積ハ四十億程度デアリカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ四十億ノ針葉樹、闊葉樹別ヲ申上ゲマス、大體半々ノ數ニテハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、以上ノヤウナ狀態デアリマシテ、國內ノ森林カラ現在ノ需要量ヲ伐出致シマシテ、需要量ヲ満たスト云フコトハ、中々困難ノヤウナ情勢ニ相成ツテ居ルノデアリマス、今年度ノ需要量モ、大體用材ニ於キマシテ、立木ニ換算致シマシテ一億萬石必要デアリマス、素材ト致シマシテモ七千五百萬石ハドウシテモ必要デアリマスルシ、又薪炭材ト致シマシテ最少限度二億五千萬石ノ數ガ必要デアリマス、合計三億五千萬石ノ數ガ必要デアアルノデアリマスガ、現在利用サレマス四十億ノ蓄積ヲ、成長並關係カラ見マス、大體年二億六千萬石程度ト相成ルノデアリマシテ、結局其ノ差ノ——三億五千萬石ト二億六千萬石トノ差ダケ、

九千萬石近クハヤハリ蓄積ニ喰込ムト云フヤウナ恰好ニ相成ルノデアリマス、サウ云フ關係ニアリマシテ、此ノ復興用材、其ノ他ノ緊急用材ハ色々出テ參ツテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ需要量ヲ内地ノ山ダケデ充シマスコトハ、將來ノ不足ノ關係モアリ、中困難デアアルヤウニ存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ不足ハ、事情ガ許シマスナラバ輸入材ニ依ツテ充當シテ行キタイト云フ風ニ考ヘマシテ、只今此ノ輸入材ニ付キマシテ色々計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、マダ正式ノ交渉マデ至ツテ居ナイノデアリマス、大體輸入希望數ト致シマシテハ、前ニモ申上ゲマシタ通り、本年度一千萬石近クノ輸入ヲ得マスレバ、需給ノ均衡ヲ圖ル上ニ於キマシテ相當緩和サレル見込ガアリマスガ、中々是カラ本年度内ニ一千萬石ノ輸入ト云フコトハ困難デアリカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シドウシテモ復興ハ急速ニヤラナケレバナナイ關係ニモアリマスルノデ、出來ルダケ輸入材ニ付テハ懇請致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ御尋ネノ進駐軍用材ノ關係デアリマスガ、此ノ進駐軍用材ハ、住宅用材ト兵舍用材ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ大體ニ於キマシテ順調ニ生産モ出來、又輸送モ致シテ居ルノデアリマス、其ノ中住宅用材ハモウ殆ド完了ノ域ニ達シテ居リマス、唯兵舍用材ガ一部規格ノ變更、或ハ納入數ノ變更等ノ爲ニ、少シ遅レテ居リマスガ、是モ大體今月中ニハ生産完了ノ見込デアリマス

ソレカラ復興用材ノ點デアリマスルガ、復興用材ハ本年度復興計畫ノ二十

五萬トシニ對シマシテ、木材ガ約一千二百萬石程度必要デアアルデアリマシテ、是ハ各四半期ニ分ケマシテ計畫ヲ樹立致シテ居リマスガ、第一四半期ニ於キマシテハ、進駐軍用材ノ供出ノ關係モアリマシタルノデ、百八十萬石程度ヲ豫定致シタルデアリマス、此ノ納入狀況ハ大體七二〇程度ノ蓄積ヲ示シテ居ルノデアリマス、又第二四半期ト致シマシテ二百十八萬石ノ割當ヲ致シテ居ルノデアリマス、殘餘ハ第三四半期、第四四半期ニ割當ルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス

尙ホ御尋ネノ賠償物資ノ包裝用材ノ點デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、マダ商工省ノ方カラ詳細ナ打合せハ、ハツキリシタコト

ニ一千四百萬石ノ見込デアリマスガ、千度ハ必要デアリカト云フ風ニ考ヘラレテ居リマスシ、之ヲ一箇年間ニ致シマシテモ七百萬石ニ相成ルノデアリマス、木材ノ需給上カラ申シマスト非常ニ困難ナ情勢ニアリマスノデ、此ノ包裝用材等ニ付キマシテモ、出來ルダケ輸入材ニ依ツヤウニ致シタイト存ジマシテ、只今ソレモ含メマシタ計畫ヲ樹立シテ居ルノデアリマス、大體以上ノ通りデゴザイマス

○磯田委員 梱包用材ノ數ハ大體只今御尋ネタルデ分ツタルデアリマスガ、其ノ生産並ニ供出ニ對スル方針ハ、只今御伺ヒシヤウニ、大體輸入ニ依テタイト云フコトデアリマス、是ト仕事ノ豫算トカ何トカ云フコトハ、農林當局デハ御分リニナラナイノデアリマス

○中尾政府委員 マダ豫算等ノコトニ

付キマシテハ、何モ私ノ方デハ分ツテ居リマセヌ

○磯田委員 同僚委員カラモ數次ニ互ツテ質疑ガアツタコトデアラウト思ヒマスガ、造林ノ植林ノ關係デスケレドモ、是ガ現在ノ狀態デハ殆ド植林ヲヤル者ガナイ、ヤリタクテモアレナイト云フヤウナ實情ニアルノデアリマス、ソレニ付キマシテ、先般ダナカノ質問ノ時ニ御答ヘサレマシタ、本年度ノ造林ニ關スル補助ノ引上ゲト云フヤウナコトニ付テ、大體御伺ヒ致シマシタガ、參考マデニ、私等ノ地方ニ於キマス植林費並ニ現在ノ價格ニ於テ、ドンナ程度ノ比率ニナツテ居ルカト云フヤウナコトニ付テ調査シテ見タノデアリマスガ、現在私等ノ地方ニ於キマシテノ一町歩當リノ植林費ハ、大體地持ヘ人夫賃ガ延十人ト見マシテ、此ノ單價ガ三十圓デアツテ三百圓、苗代ガ三千本デアツテ、單價ヲ三百圓ト見テ九百圓、ソレカラ之ニ要スル彈資ガ、單價ヲ五十圓トシテ百五十圓、荷撥シ其ノ他ニ因ル枯損額ガ五十二圓五十錢、ソレカラ植付ノ人夫費ガ、大體十五人ト見マシテ、單價ガ三十圓デ四百五十圓、ソレカラ雜費、是ハ假植手間、送金料、通信料ト云ツタヤウナモノヲ大體百圓ト見マス、ソレカラ補助費平均二割ト見積リマシテ、是ガ三百三十圓五十錢、計二千二百八十三圓ト云フコトニナリマス、ソレカラ此ノ植林シタモノニ對スル手入費デアリマスガ、現在ノ人夫賃トシテ計算シマス、間刈人夫賃十年生マデ大體一回ノ手入ヲスルト致シマシテ、一回十人、延百人デ是ガ三千圓、掃除代ノ人夫賃ガ年二三回ト見マシテ、是ガ六人、延十八人デ五

百四十圓、ソレカラ枝打人夫賃ガ三回ト見マシテ、初回ガ十人、二回目ガ二十人、三回目ガ三十人、延六十人トシテ是ガ千八百圓、計五千三百四十圓、總計七千六百二十三圓ト云フコトニナリマス、現在私等ノ地方ニ於キマス人夫賃ハ、目下最低二十五圓カラ三十五圓位マデデアリマス、其ノ平均トシテ見積リタ譯デアリマス、之ヲ三十年生デ假ニ算スルト致シマス、材積ガ七百石トシテ、單價ヲ四十圓ト見マシテ二萬八千圓、斯ウ云フコトニナリマスガ、此ノ間刈ト云フヤウナコトハ、人夫サヘアレバ五年生位マデハ年二回位行ヒタイノデアリマスガ、現在ハソレモ出來マセヌ、大體年一回トシテ計算シテ見タ譯デアリマス、ソレデ土地ノ値段段假ニ一町歩二

千三百七十七圓ト致シマス、諸費ト合計ヲシテ一萬圓トナリマスガ、ソレガ其ノ投資額ニ對シテ、三十年生二萬八千圓デハ、據置複利ニ見マシテ約三分五厘弱ニシカナラナイノデアリマス、ソレハ三十年後ニモ現在ノ値段段賣木出來ルモノトシテ計算デアリマスガ、現在ノ相場ガ到底三十年後ニ續クト云フヤウナコトモ考ヘラレナイノデアリマス、而モ此ノ三分五厘弱ノ低利ノ重ツタモノニ、現在マデノ所得稅ハ約五千圓位ダト思フノデアリマスガ、今度ノ改正法デ恐ラク非常ノ高率ノ税金トナルコトト思ヒマス、況シテ二町、三町ト賣ツタ時ノコトヲ思ヒマス、多クナレバ多クナルダ、其ノ税金ハ非常ナ額ニナル、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマス、到底植林ナドヤヤルト云フ勇氣ハナクナル譯デアリマス、山持モ成ベク少ク賣ツデ、サウシテ其ノ場ヲ糊化シテ行カウト云フヤウナ狀

態デアリマス、隨テ生産額ガ非常ニ減ツテ來ルト云フヤウナ狀態デアリマス、而モ此ノ人夫賃ニ對スル税金ノ問題デアリマス、課稅ニ致シマシテモ、銀行カラ新圓デ拂戻シカラ差引カレル爲ニ、實質的ニハ林業者ノ負擔トナルヤウナ傾向ガアルノデアリマシテ、是ハドウシテモ面倒デモ銀行デノ差引ヲ止メテ、後各人夫ニ課稅シタ方ガ宜イノデアリマス、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、苗代デアリマスガ、是モ封鎖支拂宜イト云フコトニハナツテ居リマス、封鎖支拂デハ苗ヲ賣ツテ與レナイノガ實情デアリマス、隨テ大部分ガ新圓ノ取引ニナルノデアリマス、又間刈ヤヤル鐵一挺求メルニ致シマシテモ、七十圓或ハ百圓ハスルノデアリマシテ、是モヤハリ新圓デ拂ハナケレバナラヌ、隨テ立木代金ヲ、現在ノ鐵封鎖ノ支拂デハドウスルコトモ出來ナイト云フノガ實情デアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、何カ封鎖支拂デナク、新圓支拂ニシテ賣フコトガ出來ナイモノカ、ソレカラ造林補助金ノ問題デアリマス、植付費ノミデモ一町歩約二千三百圓只今ノ計算言ヒマシテ掛ルノデアリマス、之ニ對シマシテ從來ハ百八十圓位ノ補助デアツタノデアリマス、是デハ到底獎勵ニモ何ニモナラナイノデアリマシテ、是ハドウシテモ相當大幅ノ補助ノ引上ヲヤツテ賣フ必要ガアル、先般政府委員カラノ御答辯ニ、四倍程度ニハナルダラウト云フコトヲ承タタノデアリマス、尙ホ一應ハツキリト、其ノ點ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、ソレカラ造林補助ノ問題デスガ、大幅ニ引上ゲテ戴キタイト同時ニ、現在ノ農林中央

金庫證券支拂ツテ賣フト云フコトハ、補助ヲ賣フノニ、前ニ積立金ミタイナコトヲシテ置カケレバナラナイト云フヤウナコトデアリマシテハ、非常ニ面倒バカリデナク、林業者ノ感情ノ上カラモ非常ニ拙イト思フノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトヲ御廢止ニナル考ヘハナイカドウカト云フヤウナ點ニ付キマシテモ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス、要スルニ補助ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ計算カラ言ヒマシテモ、相當思ヒ切ツタ補助ヲ出シテ賣フ必要ガアルシ、尙ホ現在ニ支拂ガ、農林中央金庫證券ト云フヤウナ七面到臭イ方法デ支拂ハレ、而モソレガ直グ使ハナイト云フヤウナコトデハ、到底植林ノ獎勵ヲスルコトハ出來ナイト思ヒマス、是トモウ云フ點ニ付キマシテ、尙ホ一應ハツキリシタ方針ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○平川政府委員 造林ノ費用ガ、實際問題ト致シマシテ造林證券等デ豫定ヲ致シテ居リマス以上ニ中々掛ルト云フ實情ニ付キマシテハ、御話洵ニ御尤モト思フノデアリマス、政府ト致シマシテモ、先般御説明申上ゲマシタヤウニ、造林證券ノ方ニ於キマシテハ、從來植付費ヲ平均二百四十圓ト計算致シテ居リマシタ、八百六十圓ニ引上ゲタノデアリマス、ソレデ約四倍ト申上ゲタノデアリマスガ、是トモ只今御話ノ如ク、人夫賃三十圓ト云フヤウナ計算ニハ相成ツテ居リマセヌ、サウ云フ計算カラ見マスト非常ニ低過ギルト云フ御話ニナラウト思フノデアリマス、現在ノ所デハ人夫賃十圓五十錢位ニ見テ居リマス爲ニ、サウ云フ計算ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ御

話ノ人夫賃ニ對スル課稅ヲ銀行デ差引ク云々ト云フ御話モゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ、課稅上ノ技術カラ左様ナコトニ相成ツテ居ルノデアラウト思ヒマス、尙ホ大藏省方面ト折衝致シテ見タイト思ヒマス、ソレカラ苗代等ニ付テモ、封鎖デハ實際ハ買ヘナイ、隨テ立木代金ニ付テ封鎖支拂デナイヤウニシテ賣ヒタイト云フ御話デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ、造林ニ對スル人夫賃ニ付キマシテハ、別途封鎖カラ現金ガ引出セルヤウニ相成ツテ居リマスガ、其ノ他ニ、木材代金ニ對シマシテ二割マデハ現金デ支拂ツテ宜シイト云フ諒解ヲ得テ居ルノデアリマス、是ガ一部立木ニモ廻ツテ行クコトニナルト考ヘテ居リマス、是トモ必ズシモ十分ハ考ヘラレマセスケレドモ、一面封鎖制度ノ別ノ意義モゴザイマス、當方ト致シマシテモ大藏省ト折衝致シマシテ、出來得ル限り封鎖ノ面ヲ現金拂ノ方ニ變ヘテ賣フヤウニ交渉ハ致シテ居リマスガ、未ダ是ガ非常ニ多イ割合ニ於テ認メラレルト云フ所マデハ至ツテ居リマセヌ、尙ホ之ヲ引上ゲルベク折衝中デゴザイマス

ソレカラ造林證券ガ大變ニ手續方面倒テアルト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ實ハ立木ヲ賣リマシタ際ニ收入ガ入ル、其ノ收入ガ入リマシタ際ニ直チニ造林ヲ行フトハ限リマセヌ、其ノ收入ガ入リマシタ際ニ、其ノ一部分ヲ以テ積立テテ、造林證券ノ交付ヲ受ケテ置ケバ、適當ナル時期ニ造林ヲ致シタ場合ニ、其ノ費用ヲ割引其ノ他ノ方法ニ依ツテ銀行カラ出シテ、又翌年度ニ於テ政府ガ之ニ補助金ヲ出ス、斯ウ云フ制度ニナツテ居ルノデアリマシテ、一旦積立テルト云フ意味

ハ、此ノ立木ヲ賣拂ツタ際ニ、其ノ伐採跡地ニ造林スルノ目的デアリマスカラ、賣拂ツタ際ノ現金収入ノ中カラ一部積立テサセ、斯ウ云フ考ヘ方デ此ノ證券ガ出来テ居ルノデアリマス、併シナガラ是ガ運用ノ實際ニ當リマシテ、御話ノ如ク甚ダ面倒デアルト云フコトデアリマスレバ、或ベク其ノ面倒ヲ少クスルヤウナコトニ付テ、研究ヲ致シテ見タイト考ヘマス、法律ノ建前ガ只今申上デマシタヤウニ、現金ガ入ツタ時ニ積立テテ、適當ナ時期ニ造林ヲスル斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス爲ニ、今ノヤウ面倒ガ自然伴ツテ居ル譯デアリマス

○磯田委員 實際ニ三十圓ト云フノハ安イノデスガ、其ノ三十圓掛ル人夫賃ヲ十幾ラ位ニシカ見テ居ナイト云フ、サウ云フ所ニ、非常ナ當局ノ考ヘ方ト實際ノ面ニ於ケル違ヒガ起ツテ來ルノデヤナイカト思フノデス、實際ニ三十圓掛ツタナラバ、ヤハリサウシタ基準ニ依ツテ補助ノ率モ決マルト云フノデナケレバ、活キタ政治ニナラナイと思フノデスガ、サウ云フヤフナ點ニ付テ、尙ホ一ツ増額ニ付テ御一考ヲ煩ハシタイト思ヒマス、餘リ諄ク申上ゲルコトモ失禮デスカラ、要望ヲシテ置キマシテ其ノ程度デ打切りタイト思ヒマス、尙ホ只今ノ造林證券ノ問題デアリマスガ、是ハ立木ヲ賣ツタ時ノ一部ヲト云フ風ニハ地方デハ取ツテ居リマセ、造林スル時ニ、ヤハリ補助申請ヲスル時ニ積立テルト云フ風ニ取ツテ居リマスカラ、隨テ先ニ金ヲ積ンデ置イテ儼カナ補助金ヲ貰フヤウナ、ソナナ面倒ナコトハ止メタ方宜イト云フノデ、恐ラク殆ド私ノ地方アタリデハ、補助申請ヲ去年アタリハシナカッタノ

デアリマス、隨テ御承知ノヤウニ、非常ニ表面カラ見タ補助申請ハ少カッタト思ヒマス、サウ云フ關係ガアリマスノデ、只今ノ政府委員ノ御説明ノヤウナコトデアツタトシタナラバ、ソレヲモウ少シ地方町村マデ送還スルヤウニ、徹底スルヤウナ指令デモ出シテ貰フ必要ガアルノデヤナイカト考ヘマス、此ノ點モ御注意申上ゲテ置キマス

ソレカラハハヤハリ法案ノ關係デ、基本方策ノ内容ニ付テ御伺ヒシテモ宜イノデアリマスガ、事務的ノ方面カラ御伺ヒシタイト思ヒマス、現在ニ於キマシテモ、製材所ハ個人ナリ會社ナリ、サウ云フ方面ニ許可スル方針デアリマスカドウカ、ソレヲ承リタイ

○中尾政府委員 製材所ノ方ハ許可スル方針デアリマス、但シ許可ノ場合ニ於キマシテハ、製材所ヲ建設致シマス箇所ニ於キマス原本ノ其關係、ソレカラ現存ノ工場トノ關係等色々調査致シマシテ、摩擦ノ起ラナイヤウナ箇所デアレバ許可スルコト致シマス

○磯田委員 林道開發ノ問題デアリマスガ、是ハ現在ノヤウニ段々資源ガ奥地ニ移行致シテ參リマスルニ連レテ、當然最も必要ナ事情デアリマスガ、之ニ對シマシテハ、相當今年度ニ於キマシテモ豫算モ取ツテアルヤウデアリマスガ、此ノ開發ニ當リマスル方針トシテ、私ノ考ヘデハ、斯ウシタ緊急ニ木林ノ必要ナ時デアリマスルガ故ニ、成ベク戰災地、所謂復興用材ノ最も必要ナ所ノ、近縣ノ林道開發ト云フコトニ重點ヲ置ク必要ガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマスガ、當局ノ御考ヘ方ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中尾政府委員 御意見御尤モト思ヒマスガ、此ノ林道ノ開發ニ當リマシテハ、勿論御尋ネノヤウナコトモ考慮ニ入レマシテ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯奥地林分、或ハ殘存林分ノ關係等モゴザイマシテ、一概ニ復興用材ヲ要求スル都市ノ直グ近縣ダケト云フ譯ニハ參ラナイノデアリマスガ、サウ云フ點モ含メマシテ計畫ハ致シテ居ルノデアリマス

○磯田委員 オ序ニ一ツ、林道關係ノ豫算等ニ付キマシテ大體御伺ヒシタイト思ヒマス

○中尾政府委員 林道ノ今年度ノ計畫ニ付キマシテ概要ヲ申シマス、先ヅ國有林道ノ方デ、是ハ車道並ニ軌道、又牛馬道ト云フモノヲ含メマシテ千八百七十一「キロ」、ソレカラ歩道ガ六百七十一「キロ」計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ民有林道道、本年度ハ六千八百四十四「キロ」ノ豫定ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今マデ申上ゲマシタノハ全體ノ豫定デアリマスルガ、其ノ中、奥地林分開發ノ爲ノ奥地林道ト致シマシテハ、國有林ノ方ニ於キマシテ五百五十九「キロ」ヲ豫定致シテ居リマス、奥地林分ノ方ノ計畫ハ、國有林林道ニ於キマシテハ、本年度以降八箇年ニ六千七百「キロ」ヲ開發スル豫定ヲ以テマシテ實行致シテ居ルノデアリマス、又民有林林道ニ於キマシテ、先刻申上ゲマシタ六千八百十四「キロ」ノ中、奥地林道トシテ千七百二十四「キロ」ヲ豫定致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ民有林ノ奥地林道モ、本年度ヨリ十箇年計畫ヲ以テマシテ實行ヲ致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、以上ノヤウナ計畫デアリマシテ居ルノデアリマスガ、經費關係ハ大體二億圓程度ニ相成ツテ居リマス、其ノ中奥地林道ガ八千三百

萬圓程度ニ相成ツテ居リマス、概要ハ以上ノ通りデアリマス

○磯田委員 大臣ニ御伺ヒシタイ點ガ幾ツカアルノデアリマスガ、ソレハ又次ノ何カノ機會ニ特ニ御伺ヒスルコトニ致シマシテ、大體政府委員ニ對シマシテ是カラ御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ林業會法案ノ提出ニ際シマシテ、農林大臣並ニ政府委員ノ數次ニ互リマス答辯ヲ終合致シテ見マス、本案ハ、戰時中非常ナ不評ト失敗ヲ繰返シタ所謂不統法、之ヲ廢止スルコト、又日本、地木等ヲ解散サセテ、之ニ代ル統制法トシテ本法ヲ施行シテ、木材ノ生産ヤ供出配給上ノ圓滑ヲ期シ、及ビ進駐軍用材ノ完納、復興木材ノ計畫生産、斯ウ云ツタ點ノ目的ヲ達セシメヨウトスルコトガ、主ナル立案ノ要旨ノヤウニ思ハレマスガ、此ノ點ニ對シマス政府ノ明確ナ答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○平川政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、大臣ノ提案理由説明ニモゴザイマシタ如ク、林業或ハ林産業全體ヲ包括シマシテ、是ガ改良發達ヲ圖ル爲ニ、森林所有者ノ團體、或ハ林産業ノ團體トノ協力調整ヲ圖ラウト云フコトガ主眼デアリマシテ、偶、林産業、殊ニ木材業ニ關シマシテ、從來甚ダ不評デアリマシタ地木社及ビ日本社ニ對スル解散ノ命令ガゴザイマシタシ、又政府ト致シマシテモ、地木社、日本社ニ付キマシテハ之ヲ解散セシメマシテ、新タニ自主體ナ關係業者ノ團體ヲ組織致シマシテ、之ニ依ツテ木材ノ自主的統制ヲ圖ルト云フコトノ必要ヲ感ジテ居リマシタノデ、之ヲ併セ考ヘマシテ本案ヲ提出致シタ譯デアリマシテ、御尋ネノ點ハ、副次的目的ト致シマシテ考ヘテ

居ツタ所デアリマスケレドモ、必ズシモソレガ唯一、根本ノ理由ト云フ譯デアリナイノデアリマス

○磯田委員 本法案ノ附則ノ第八十七條並ニ第八十八條、之ニハツキリ「木材統制法は、これを廢止する。」「日本木材株式會社及び地方木材株式會社は、同條の規定施行の際解散する。」ト云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ廢止ニ伴ヒ本法ガ出来ルノダト云フ風ニ解釋サレルノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスレバ、決シテ木材ノミノ關係法案デアナイト云フ御答辯デアツタノデアリマスガ、併シナガラ先般來政府委員ノ同僚議員ニ對シマス答辯ノ中ニ、本法ハ森林團體法、斯ウ云ツタモノノ出来ルマデ、暫定的ノモノデアルト云フヤウナコトヲ御答辯サレテ居ルヤウデアリマシタケレドモ、若シ左様ナ暫定的ノモノデアルト致シマシタナラバ、到底此ノ感ラレテアリマスル所ノ、只今政府委員ノ御説明ニアリマシタヤウナ、所謂林政全般ニ關スル大キナ目的ヲ達成スルコト云フヤウナコトハ、到底出来ナイト同時ニ、森林ノ保育、育成サウ云ツタヤウナ遠大ナ仕事ハ到底此ノ暫定的ノ法案ニ依ツテハ出来ルモノデアナイト思フノデ、此ノ點ニ付キマシテ尙ホ一應政府委員ノ御答辯ヲ願ヒマス

○平川政府委員 本法案ガ暫定的ナ面ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申シマシタノハ、色々ノ點ニ於キマシテ、此ノ法案ガ林業ノ團體ニ關スル根本的ナ法規ト致シマシテ、必ズシモ完備デアリナイト云フコトハ認メルト云フ意味デアリマシテ、併シナガラ此ノ林業ノ發達或ハ林産業ノ發達ト云フコトニ關シマシテ、森林所有者及ビ林産業者ノ兩者ノ

居ツタ所デアリマスケレドモ、必ズシモソレガ唯一、根本ノ理由ト云フ譯デアリナイノデアリマス

○磯田委員 本法案ノ附則ノ第八十七條並ニ第八十八條、之ニハツキリ「木材統制法は、これを廢止する。」「日本木材株式會社及び地方木材株式會社は、同條の規定施行の際解散する。」ト云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ廢止ニ伴ヒ本法ガ出来ルノダト云フ風ニ解釋サレルノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスレバ、決シテ木材ノミノ關係法案デアナイト云フ御答辯デアツタノデアリマスガ、併シナガラ先般來政府委員ノ同僚議員ニ對シマス答辯ノ中ニ、本法ハ森林團體法、斯ウ云ツタモノノ出来ルマデ、暫定的ノモノデアルト云フヤウナコトヲ御答辯サレテ居ルヤウデアリマシタケレドモ、若シ左様ナ暫定的ノモノデアルト致シマシタナラバ、到底此ノ感ラレテアリマスル所ノ、只今政府委員ノ御説明ニアリマシタヤウナ、所謂林政全般ニ關スル大キナ目的ヲ達成スルコト云フヤウナコトハ、到底出来ナイト同時ニ、森林ノ保育、育成サウ云ツタヤウナ遠大ナ仕事ハ到底此ノ暫定的ノ法案ニ依ツテハ出来ルモノデアナイト思フノデ、此ノ點ニ付キマシテ尙ホ一應政府委員ノ御答辯ヲ願ヒマス

○平川政府委員 本法案ガ暫定的ナ面ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申シマシタノハ、色々ノ點ニ於キマシテ、此ノ法案ガ林業ノ團體ニ關スル根本的ナ法規ト致シマシテ、必ズシモ完備デアリナイト云フコトハ認メルト云フ意味デアリマシテ、併シナガラ此ノ林業ノ發達或ハ林産業ノ發達ト云フコトニ關シマシテ、森林所有者及ビ林産業者ノ兩者ノ

居ツタ所デアリマスケレドモ、必ズシモソレガ唯一、根本ノ理由ト云フ譯デアリナイノデアリマス

○磯田委員 本法案ノ附則ノ第八十七條並ニ第八十八條、之ニハツキリ「木材統制法は、これを廢止する。」「日本木材株式會社及び地方木材株式會社は、同條の規定施行の際解散する。」ト云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ廢止ニ伴ヒ本法ガ出来ルノダト云フ風ニ解釋サレルノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスレバ、決シテ木材ノミノ關係法案デアナイト云フ御答辯デアツタノデアリマスガ、併シナガラ先般來政府委員ノ同僚議員ニ對シマス答辯ノ中ニ、本法ハ森林團體法、斯ウ云ツタモノノ出来ルマデ、暫定的ノモノデアルト云フヤウナコトヲ御答辯サレテ居ルヤウデアリマシタケレドモ、若シ左様ナ暫定的ノモノデアルト致シマシタナラバ、到底此ノ感ラレテアリマスル所ノ、只今政府委員ノ御説明ニアリマシタヤウナ、所謂林政全般ニ關スル大キナ目的ヲ達成スルコト云フヤウナコトハ、到底出来ナイト同時ニ、森林ノ保育、育成サウ云ツタヤウナ遠大ナ仕事ハ到底此ノ暫定的ノ法案ニ依ツテハ出来ルモノデアナイト思フノデ、此ノ點ニ付キマシテ尙ホ一應政府委員ノ御答辯ヲ願ヒマス

協力ヲ必要トスルコト云フ點ニ付キマシテハ、今後林業團體法如何ナル形ヲ以テ現ハレテ參リマシテモ、其ノ根本ハ變ラナイデアラウ、林業ノ發達、或ハ森林資源ノ造成ト云フ面カラ考ヘテ見マシテモ、森林所有者ト林業業者ノ協力ヲ求メナケレバナラヌ、此ノ協力ニ依ツテ初メテソレガ完璧ヲ期シ得ルコト云フ根本ノ點ハ變ラナイデアラウ、サウ云フ意味ニ於テ此ノ法案ハ森林資源ノ造成、或ハ林業ノ發達ト云フ根本ノ目的ノ對シテモ、方向ハ誤ツテ居ラナイト思フデアリマス、但シ色々或ハ森林組合ノ動キ方ニ付キマシテモ、其ノ外色々點ニ於テキマシテ改正スベキ幾ラノ點モアルデアラウ、サウ云フ意味ニ於テ暫定ノ申シテ居ルデアリマシテ、ソレダカラト申シマシテ、此ノ法案ハ單ニ地木、日本ノ解散、或ハ木材統制法ノ廢止ニ伴フ木材統制ニ關スル點ノ規定デアルトハ考ヘテ居ラナイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○磯田委員 ドウモ政府委員ノ御説デハツキリシナイ點ガアルデアリマスガ、ソレナラバ只今ノ御説明ノヤウナ必要カラ生レルモノデアッタトシタナラバ、ドウシテ此ノ際モツトハツキリシタモノニシナイカト云フコトデアリマス、又本當ノ目的ガ木材ノ關係ノミニアルトスレバ、何モコンナニ百何條ニモ及ブ條文ヲ作ツテ、舊態依然タル複雜極マル法律ヲ作ル必要ハナイト云フ風ニ考ヘラレマスルシ、本當ノ考ガ木材ニ關スルノミノ法案デアリマシタナラバ、モツト本當ニ數條ノ條文デ済ムノデアナイカ、第一條、或ハ第四條、第九條、第六十六條、第六十七條、第六十八條、第七十一條、第七十二條、斯ウシタヤウナ條文ヲ全面的ニ修正ヲ

スルコトニ依ツテ、モツト簡單ニ條文ヲ作レルノデアナイカト云フ風ニ考ヘラレマスルコト同時ニ、若シ只今御説明ノヤウナ必要性カラ生レルモノデアツタトシタナラバ、何デモウ少シハツキリシ法案ヲ出サナイカ、例ヘバ指定品目トシテノ中ニ、主務大臣ノ指定スルモノト云フヤウナ漢タル字句ヲ使ハズニ、ハツキリト薪炭ナラ薪炭、竹材ナラ竹材ト云フモノヲ入レテヤル必要ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御尋ネ致シマス

○平川政府委員 ハツキリシ法律ト云フ意味ハ色々アリダラウト思フデアリマスガ、只今御指摘ニナリマシタ薪炭ノ點ニ付キマシテハ、是ハ先般來申上ゲマシタ如ク、尙ホ研究スベキ點ガ殘ツテ居リマスル爲ニ、出來得ル限り早イ機會ニ之ヲ規定スルト云フ意味ニ於テ、斯ウ云フ表ハシ方ヲ致シタ譯デアリマス、其ノ外イマ少シハツキリシタ形ト云フ御説ノ意味ガハツキリ致サナイ點モアルデアリマスガ、森林組合關係ヲ此ノ中ニ全部包括シテ書クト云フヤウナ點モ、或ハ其ノ御意見ノ中ニ含まレルカト思フデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、現在ノ森林法ト云フ法律ガ一ツノ體系ヲ成シテ居リマスルノデ、此ノ中カラ森林組合ヲ全然除イテ來ルト云フコトニ付キマシラハ、相當議論ノ餘地ガアリマスルノデ、此ノ法案ト致シマシテハ、現在ノ森林法ト云フモノヲ前提ニ置キマシテ、是ト一貫シテ見テ、一ツノ纏ツタ團體法規ト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、尙ホ之ヲ木材統制ノ單獨ノ法規トスレバ、尙ホ簡單ニ出來ルデアナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ私共

ハ全然サウ云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ、單ニ木材統制ニ關スル法規ダケデアリマスレバ、御説ノ如クダト思ヒマスルガ、私共全然サウ考ヘテ居リマセヌノデ、ヤハリ林業ニ關スル一ツノ基礎的ナ團體ノ法規ト致シマシテ、斯様ナ形ヲ採リタイト考ヘテ居タ譯デアリマス

○磯田委員 尙ホ續イテ質問ヲ繰返シタイノデアリマスガ、已ムヲ得ナイ面會者ガ參リマシタノデ、私此ノ質問ハ今日ハ是デ終リマス

○平野(増)委員長代理 ソレデハ次會ニ繼續致シマス、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、次會ハ十日火曜日ノ午前十時カラ開會致シマス

午前十一時二十八分散會

昭和二十一年十一月十六日印刷

昭和二十一年十一月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局